



令和元年度『腹の底から笑いあった家族エピソード』大笑

【市長賞】

「もん」のおかげ

南小学校二年

杉原 百華

わたしには、りんという名前のもうとがいます。

ある日、おかあさんがいそがしそうにしていました。

「早くお風呂に入りなさい」とわたしともうとに言っているのに、わたしともうとは、しらんかおでふざけてあそんでいました。

「もかちゃん、りんちゃん！早く入りなさい。」

「もか！りん！お風呂。」

だんだんと、おかあさんのかおがこわくなってきて、こえもこわくなってきました。

「あっ、ヤバイ…。」とわたしは、こころの中で思いました。そのときです。

「もお！もん！」

いっしゅん、そのばがシンとなりました。

わたしともうとは、

「えっ？もん？」

と思いつつも、おこられると思ってじっとしていました。

でも、おかあさんを見ると、一人でクスクスとわらっていました。なんどと思いました。

おかあさんは、もかとりんをいっしょに言ってしまったって「もん」といってしまったそうです。

もかの「も」、りんの「ん」。

それを聞いてわたしともうとも、はらをかかえて大わらいました。

「もん」のおかげで、おこられずにすんでよかったです。

令和元年度『少しのがまん』川柳大賞【優秀賞】

焼肉の

においてかき込む

白ご飯

第一中学校二年

石川 沙紀

（自作の解説）

焼肉はごちそうなので、少しの肉を買って、一杯目のご飯は焼肉のにおいをかいで食べて、ぜい沢気分になり、焼肉を沢山食べたように感じようとしているところを書きました。

（家族の一言）

少しだけ財布に優しい内容ですね。お肉好きの沙紀ならではの発想に笑えました。

南小学校

第7回

みんなが進めル コミュニティ・スクール

(略してCS)

カルタで府中を元気に

南小学校は、学校と社会が連携・協働しながら新しい時代に求められる資質・能力を子どもたちに育むことを目指してカリキュラム開発に取り組んでいます。

今年度は、府中の名物や観光名所を広く伝える活動の一つとして「ふちゅうじまんカルタ」を作成しました。6年生の児童一人一人が読み札の句や、取り札の絵を考え、丁寧に仕上げました。このカルタを保護者や地域の方々に紹介したり、児童が地域の保育所などに出向いたりして、活用してもらえよう働きかけていきます。

